

## 1 磐田市のまちづくり～土地利用について

### (1) 市街化調整区域における土地利用について

都市計画法により、市街化調整区域は市街化を抑制すべき区域として、市街化拡散の防止・豊かな自然環境の保全に長年効果を果たしてきました。

一方で、時代の大きな変化に伴い課題も出てきていると思われます。

- ① 市街化調整区域についての現状と課題を伺います。
- ② 高齢化や人口減少により衰退する既存集落における集落機能維持や活性化、新たなライフスタイルとして、交通の利便性を活かして都市部の職場に通勤し、豊かな自然と共にゆとりある子育てや生活を送りたい人達への移住促進、U I J ターンで都市部から地方の田園集落で、ガーデニングや家庭菜園など楽しみ多彩な生活や生きがいを求める方の移住促進などが期待される優良田園住宅制度。

市街化調整区域における住宅建設について、優良田園住宅制度活用  
の本市の見解を伺います。

- ③ 東名・新東名インターチェンジ周辺の産業拠点への今後の対応を伺います。

## 2 磐田市の福祉について

### (1) 福祉課題の複雑化・多様化について

近年、核家族世帯や1人暮らしの高齢世帯の増加、個人の生活様式や価値観の多様化、人と人との繋がり希薄化や地域の相互扶助機能の低下等により、福祉課題が複雑化・多様化してきています。

- ① 複雑化・多様化する福祉課題への現在の支援体制と課題を伺います。
- ② 福祉課職員としては、今まで以上に社会福祉的援助またソーシャルワーク的能力が必要とされると思います。福祉課の社会福祉士・精神

保健福祉士など専門職の配置状況と職員の教育、職員の勤続年数の状況について伺います。

- ③ 市でできることには限界があります。

地域包括支援センター、社会福祉協議会、市民活動団体、地域との連携状況を伺います。また、基本の方針として『行政が取り組むこと』『社会福祉協議会が取り組むこと』『関係団体・福祉サービス事業者に期待すること』『市民活動団体に期待すること』『地域に期待すること』『住民に求めること』を伺います。

- ④ 磐田市の医療・福祉分野におけるボランティア・NPO等の状況、現時点において磐田市が必要とする社会資源があるのか、また今後望まれる社会資源があるのか伺います。

### 3 猛暑への対応について

- (1) 磐田市における猛暑への対応全般について

35度以上の猛暑日が続いた今年の猛烈な暑さについて、気象庁は「命に危険があるような暑さで災害と認識している」と述べ、熱中症などに十分な対策をとるよう呼びかけました。

- ① 磐田市における熱中症救急搬送者の近年の状況を伺います。  
② 磐田市における、市民への啓発等、猛暑への対応や熱中症予防の対策について伺います。

- (2) 子育て・教育現場における猛暑への対応について

熱中症による事故が相次いでいます。学校の管理下における熱中症事故も発生しており、7月には愛知県の小学校で1年生の男子児童が亡くなる痛ましい事故も起きました。

- ① 子育て現場（幼稚園・保育園・こども園）における今年度の熱中症発症の状況と猛暑時の対応、熱中症を想定される子どもへのその際の対応を伺います。

- ② 教育現場（小学校・中学校）における今年度の熱中症発症の状況と猛暑時の対応、熱中症を想定される児童・生徒へのその際の対応を伺います。
- ③ 夏時期の中学校の部活動について、猛暑への対応や熱中症予防の対策について伺います。
- ④ 全小中学校へのエアコン設置までの猛暑対策とエアコン設置前倒しについての見解を伺います。